平成 28 年８月９日

各　位

日本マクドナルドホールディングス株式会社
代表取締役社長　サラ　L．カサノバ
（コード番号：2702　JASDAQ）
問い合わせ先　ＩＲ統括責任者　中澤　啓二
ＴＥＬ　03-6911-6000

平成 28 年 12 月期　第２四半期連結業績予想と実績値との差異 および特別利益の計上に関するお知らせ

平成 28 年２月９日に公表しました、平成 28 年 12 月期第２四半期連結累計期間（平成 28 年１月１日～平成 28 年６月 30 日）の業績予想値と本日公表の実績値の差異、および特別利益の計上につきまして下記のとおりお知らせいたします。

記

1.　平成 28 年 12 月期第２四半期連結累計期間業績の差異（平成 28 年１月１日～平成 28 年６月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	１株当たり四半期純利益
前回発表予想（A）	百万円 104,000	百万円 △1,800	百万円 △2,500	百万円 △1,800	円 銭 △13.54
実績値（B）	104,893	47	△151	158	1.19
増減額（B-A）	+893	+1,847	+2,348	+1,958	-
増減率（%）	+0.9%	-	-	-	-
（ご参考）前期第２四半期実績（平成 27 年 12 月期第２四半期）	85,281	△18,291	△19,536	△26,220	△197.21

2.　差異の理由

当社は、昨年４月に策定したビジネスリカバリープラン（①よりお客様にフォーカスしたアクション　②店舗投資の加速　③地域に特化したビジネスモデル　④コストと資源効率の改善）の実行により業績の回復と中長期的な成長を目指しております。

当第２四半期累計期間におきましては、ビジネスリカバリープランを着実に実施いたしました結果、売上高につきましては期初予想を 893 百万円上回りました。営業利益、経常利益につきましては、売上高の増加に加え、店舗運営の更なる効率化や効果的なマーケティング活動の展開により費用対効果を高めることが出来たことから、営業利益で 1,847 百万円、経常利益で 2,348 百万円それぞれ期初予想を上回りました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては前述の要因に加えて、後述の特別利益の計上もあ

り、期初予想を 1,958 百万円上回りました。
　なお、当社は下期業績が通期業績に与える影響が大きいビジネスモデルであり、引き続き今後のビジネスリカバリープランの進捗やセールス動向を慎重に見極める必要があるため、通期業績予想につきましては期初予想を据え置いております。

3.　特別利益の計上
　前年度に計上いたしました店舗閉鎖損失引当金の戻入益として、特別利益 478 百万円が発生致しました。

以上